

平成26年度事業報告書

事業概要

一般財団法人への移行2年目となる平成26年度は、公益目的支出計画に関するものとしては、毎年度実施しているロードレース大会や剣道大会等の参加者への記念品提供、消防救助技術大会の出場隊員への栄養補給品の提供及び月刊誌「東京消防」をはじめとする防火防災に関する図書の発行等に加えて、御嶽山噴火災害における東京消防庁派遣部隊に対する支援及び消防学校創立100周年記念事業への協力などを行いました。

同支出計画以外のものとしては、例年どおり都民の生命・身体・財産を守ることを使命とする東京消防庁職員が安心して職務に邁進できるよう、団体保険事業及び慶弔援護事業を行いました。

また、平成25年4月の一般財団法人としての再出発を契機に、新たに賛助会員制度を創設したところですが、初年度に引き続き平成26年度におきましても多くの法人様にご加入を頂き、賛助会員の数は平成26年度末で210社となり、協会の運営基盤がより強化されることとなりました。

1 東京消防庁が行う諸施策に対する協力事業(定款第4条第1号事業)

(1) 東京消防庁の事業に対する協力

ア 健康体力増進事業に対する協力

中央総合競技大会(10月下旬～12月上旬、駒沢公園総合運動場他8会場)、駅伝ロードレース大会(12月、夢の島総合運動場)、剣道大会(7月、東京武道館)及び所属長が計画する健康体力増進事業の参加者に対して、賞品、参加賞、記念品、スポーツドリンク等を提供しました。

イ 消防技術向上事業に対する協力

(ア) 消防救助技術大会関東地区指導会(7月、千葉市)及び全国消防救助技術大会(8月、千葉市)に参加した救助隊員に対して、Tシャツ等の大会用品、補給物品を提供しまし

た。

- (イ) 国際消防救助隊合同訓練(10月、夢の島訓練場)に訓練用具、補給物品の提供を行いました。
- (ウ) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(11月、静岡県浜松市)に訓練用具、補給物品の提供を行いました。

ウ 教養事業に対する協力

- (ア) 総合文化展(8月、スクワール麴町)及び消防職員意見発表会庁内選考会(翌27年2月、スクワール麴町)の参加者に記念品等を提供しました。
- (イ) 資格取得技能講習(年度内3回)、自由研修講座(年度内7回)及びカラーガーズ隊員に対するマーチング指導(翌27年1月)に委託講師、委託指導者の派遣及びテキスト等の提供を行いました。また、退職者説明会参加者にテキストを提供しました。
- (ウ) 消防学校の学生相談(年度内24回)に女性相談員を派遣するとともに初任教養修了者に記念品を提供しました。

(2) 後方支援活動

ア 東京消防庁派遣部隊に対する支援

9月27日に発生した御嶽山噴火災害への東京消防庁派遣部隊に対して補給用品を提供しました。また、東京消防庁が調達する物品についても協会の取引業者等を紹介し迅速な調達を側面から支援を行いました。

なお、本件に関して消防総監から感謝状を頂きました。

イ スクワール麴町の一時滞在施設としての備え

- (ア) 東京都帰宅困難者対策条例に基づきスクワール麴町が一時滞在施設として指定されていることから、東京都から配布されている一時滞業者のための支援物資を備蓄スペースにおいて適正な管理を行いました。
- (イ) 翌27年3月東京都一時滞在施設情報通信訓練に参加しました。また、職員2名が普通救命講習の新規講習を、再講習該当の職員9名全員が同講習を、夫々受講しました。AED取扱訓練については11月と翌27年3月に行いました。
- (ウ) 自家発電設備の点検を法定の年2回に加えて毎月1回実施するとともに、ろ過装置については9月麴町消防署と連携し点検、水質検査及び取扱訓練を行いました。

(3) 消防機器等の研究開発及び防災機関が行う行事に対する協力

ア 東京消防庁消防技術安全所が行う研究開発事業に対する協力

各種機器の改良開発、火災鑑定に関する研究、消防隊員の安全管理に関する研究及び木造建物の防火性能に関する研究などに対して、研究用資料及び実験用物品等を提供しました。

イ 東京消防庁が行う行事等に対する協力

- (ア) 東京消防庁出初式(翌27年1月、東京ビッグサイト)の運営に対して協力しました。
- (イ) 消防学校創立100周年記念事業に対して協力しました。

2 防火防災に関する普及啓発事業(同条第2号事業)

(1) 「東京消防」の出版

防火防災に関する出来事、消防関係法令の解説、消防実務及び最新消防機材の紹介等を内容とする月刊誌「東京消防」を東京消防庁監修の下に、12回計254,400部発行し、消防職員、消防関係機関に無償配布し、同庁図書資料室(以下「資料室」という。)等に寄贈するとともに購読希望者に有償配布しました。

なお、12月号において消防署と消防団との連携強化の一助に資することを目的として消防団紹介記事を掲載したところ、各方面から好評を頂き27年度から毎号掲載することとしました。

(2) 「ウィークリー東京消防」の発行

東京消防庁、各消防署・消防団・消防少年団等の行事・活動及び通達・通知の概要等の紹介を内容とする週刊「ウィークリー東京消防」を東京消防庁監修の下に、42回計189,000部発行し、消防機関に無償配布するとともに資料室に寄贈しました。

(3) 「会員録」の発行

会員の消防職員としての円滑な業務執行に資するため、都内全消防機関及び消防関係機関の所在、電話番号、所属職員の職・氏名を網羅した「会員録」を20,520部発行し、会員及び消防関係機関に無償配布するとともに資料室に寄贈しました。

(4) 「職員手帳」の発行

会員の消防職員としての円滑な業務執行と協会が提供している各種サービス等の有効活用に資するため、消防統計、地震災害年表、当該年の防災行事、交代制勤務職員の勤務サイクル並びに協会事業概要及び問合せ先等を盛り込んだ「職員手帳」を20,700部発行し、会員に無償配布しました。

なお、特別会員からの要望を踏まえ、平成26年度から普通会员に加えて特別会員にも配付することとしました。

3 消防職員等の保健衛生及び技能向上に係る事業(同条第3号事業)

(1) 予防接種等の支援

インフルエンザ等の集団感染型疾病の予防接種等に要した費用の一部を12,859名の消防職員等に支援しました。

(2) 資格取得の支援

職務に必要な資格・技能等の取得に要した費用の一部を385名の消防職員等に支援しました。

なお、平成26年度から防火対象物点検資格者など、退職を間近に控えた職員の再就職と当該職務遂行によって消防行政に資することが期待できる資格を追加支援対象とし、併せて特別会員の加入促進を図ることとしました。

(3) 書籍購入の支援

協会売店及び協会の斡旋で書籍を購入した費用の一部を5,592名の消防職員等に支援しました。

なお、26年度は「消防ハンドブック2015年版」が発行されたため、例年に比べて多くの職員がこの支援を活用しました。

4 会員及び家族の教養・文化等に関する事業(同条第4号事業)

(1) 厚生施設の運営

会員及び家族の健康増進に資するため、厚生施設「スクワール麴町」及び「グリーンパル湯河原」を同年、「那須山荘」を4月下旬から11月中旬まで運営しました。このうち那須山荘については、隣接するホテルサンバレーの温泉施設、朝食バイキングの割引利用を可能とし、山荘利用者の利便性を向上させました。

なお、利用状況は次のとおりです。

スクワール麴町	189,449名
グリーンパル湯河原	12,749名
那須山荘	1,927名

(2) 販売事業

ア 売店販売及び出店販売

会員の業務執行及び職場生活の利便に資するため、本部庁舎及び消防学校の売店において防火防災関係図書・用品及び日用品等を販売しました。

また、東京消防出初式、消防技術安全所一般公開、消防学校実科査閲等の各種行事を捉えて出店し東京消防庁のイメージアップ等を図るため消防グッズ等を販売しました。

新しい試みとして、26年12月から27年1月まで協会のホームページを利用して試験的にスポーツウェアに限定したネット販売を実施したところ、その有効性が確認できたことから、本格実施に向けて準備を進めることとしました。

イ 指定店紹介及び斡旋販売

会員の豊かな家庭生活を支援するため、会員割引で各種商品・サービスの提供を行う指定店の紹介及び会員特別価格による各種商品の斡旋販売を行いました。特に住宅の斡旋については会員が十分な情報を効率的に得られるよう、東京消防信用組合の協力を得て住宅関連業者10社合同による住宅相談会(年度内3回)を開催しました。

また、指定店紹介及び斡旋販売を効果的に行うため、ライフサポートガイド「2014指定店のしおり」、福利厚生ニュース(8月を除く毎月発行)を全会員に配付しました。

なお、指定店の拡大にも努め、平成26年度は16の事業者を新たに指定店として登録し、その数は26年度末で219となりました。特に住宅分野の指定店拡大に務め、退寮時期を迎える職員の住宅購入への支援体制を強化しました。

(3) 団体保険事業

会員及び家族の病気や怪我等に伴う思わぬ出費、さらに万が一への備えをサポートするため団体保険事業を行いました。また、27年4月の非常勤職員の一般職化施行に備え、当該職員に対しても常勤職員に準じた保険サービスを提供するための体制を整えました。

なお、定期募集及び消防学校入校生募集による今年度の新規加入者及び更新者の数は次のとおりです。

	定期募集	消防学校入校生募集
新グループ保険	11,049名	805名
積立年金保険	7,134名	312名
傷害保険	15,031名	805名

(4) 共助事業

ア 育英事業

新たに会員及び会員子弟38名に対し、無利子による奨学金の貸し付けを行いました。なお、平成26年度末現在、205名の会員が貸付を受けています。

イ 慶弔援護事業

会員及び家族に対する弔慰金、災害見舞金、傷病見舞金、永年勤続賞受賞祝品、結婚祝品及び退会せん別金を贈呈しました。

なお、贈呈の内訳は次のとおりです。

弔慰金	26名	災害及び傷病見舞金	58名
永年勤続賞受賞祝品	692名	結婚祝品	694名
退会せん別金	811名		

ウ スポーツ・文化施設利用支援事業

会員及び家族がスポーツ・文化施設等を利用する際に要した費用の一部を、延べ1,625名の方に支援しました。

なお、26年度から従来のスキー、スケート関連施設及びプールに加えて、東京消防庁体育文化会の対象種目に合致するボウリング場や映画館及び元気回復行事で利用する施設(例えばスカイツリーなど)まで支援対象を広げました。

エ 東京ディズニーリゾート利用支援事業

会員及び家族が東京ディズニーリゾートを利用する際に要した費用の一部を、延べ21,021名の方に支援しました。

オ 夏季契約施設提供事業

25年度末をもって廃止した下田荘事業の代替えとして、普通会员が夏季休暇期間中に協会が指定するホテルを利用した場合、会員本人一人一泊に限り、その宿泊代を補助したところ、募集300名に対し261名の利用がありました。

カ 内科診療所事業

本部庁舎12階の内科診療所において、火、水、木曜日を診療日として一般都民を含めて延べ648名の方に対し内科診療、投薬及び血液検査のサービスを提供しました。

5 管理・運営事項

理事会及び評議員会を次表のとおり開催し、議案は事務局提案の内容で議決承認され、報告事項についても事務局説明内容で了承されました。第2回通常理事会及び第1回臨時評議員会の共通の議案である「会員規定の一部改正」は、平成27年4月から特別職の非常勤職員が一般職となることに伴い当該職員を普通会员とするための改正です。

理事会	評議員会
<p>第1回通常理事会 日程 平成26年5月23日 議案 「平成25年度事業報告及び財務諸表」の件、「平成25年度公益目的支出計画実施報告書」の件、「平成26年度定時評議員会開催」の件 報告 「下田荘のその後の動向」の件、「夏季契約施設」の件</p>	<p>定時評議員会 日程 平成26年6月13日 議案 「平成25年度財務諸表」の件 報告 「平成25年度事業報告」の件、「平成25年度公益目的支出計画実施報告書」の件、「下田荘のその後の動向」の件、「夏季契約施設」の件</p>
<p>第1回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成27年2月25日 議案 「平成26年度第1回臨時評議員開催」の件</p>	
<p>第2回通常理事会 日程 平成27年3月27日 議案 「平成27年度事業計画及び収支予算」の件、「会員規程の一部改正」の件、「評議員候補者推薦」の件、「理事・監事補者推薦」の件 報告 「平成27年度役員報酬」の件、「参与委嘱」の件</p>	<p>第1回臨時評議員会 日程 平成27年3月27日 議案 「会員規程の一部改正」の件、「平成27年度役員報酬」の件、「評議員選任」の件、「理事・監事選任」の件 報告 「平成27年度事業計画及び収支予算」の件、「役員等候補者」の件、「参与委嘱」の件</p>